

会 告

去る六月一日(木)、楽友会館において昭和五一年度春季定例理事会・評議員会が開催され、つぎの案件がいずれも異議なく承認・可決されました。

一、昭和五一年度予算案

二、役員交代

- (1) 評議員紀藤信義・野間三郎・武藤誠氏の退任。
 - (2) 常務理事(庶務担当)に間野英二氏を選任。
 - (3) 理事長に佐藤長氏を選任。
- 三、「史林」編集報告

以上、
なお、退任された前常務理事松尾尊允氏は評議員に、前理事長今津晃氏は理事に復帰されました。

史学研究会

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです

◇資格 本会会員であること

◇投稿受付原稿の種類、長さなど、

○研究論文・研究ノート

四〇〇字詰五〇枚程度

研究論文には四〇〇字以内の「要約」

と、「英文要約」を添付のこと(研究

ノートには両方とも不用)

註は原則として各章末に入れること。

○学会動向・批判と反省

四〇〇字詰三〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇送先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

編集後記

うとうとう梅雨の明けののも間近かと思いますが、会員の皆様方は、益々ご活躍のことと存じます。

さて、五九巻四号をお届けいたします。

本号は、日本中世社会の身分について論究された田中論文、政治史的観点から江戸幕府の行なった国役普請を考察した笠谷論文、朋党・営私問題を分析することによって年羹堯断罪事件の歴史的位置付けを試みた大谷論文の三つの論説、ビザンツ研究の動向と課題を論じた井上氏の研究動向、このほか書評三、紹介一と多彩な内容をもつ号となりました。

なお、残念なことです。本会顧問であられた中村直勝博士がおなくなりになりました。したことを皆様にお知らせいたします。

(藤井)

史 林 (第五九巻第四号)

一九七六年六月二五日印刷 定価七五〇円
一九七六年七月一日発行

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

発行人 史学研究会

理事長 佐藤 長

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇

印刷所 中村印刷株式会社